



図書館サポーターズだより 明日に吹く風



風も冷たくなり、寒い季節がやってきました。冬になると室内で過ごすことが多くなりますね。そんなときこそ図書館で本を読んでみませんか？今月も図書館サポーターがオススメの本をご紹介します。

～図書館サポーター推薦図書～



『見られる自分：マザ・コンと自立の臨床発達心理学』：鈴木 研二 著 (146.1 || Su96)

ここ茨城キリスト教大学の教員でもある鈴木研二先生の著書で、W科であるからには一度はオススメしたいと思っていました。先生の講義を聞いて興味を持った方なら、間違いなく面白いと思える本だと思います。

昔話や夢を材料に、「カラ(見られる自分)と中身」という視点で心の発達について解説されています。生きるために必要だったはずの「カラ」—いい子でいることや、経歴を重視することなどが過剰になりすぎると、逆に本来の中身が苦しむことになる。そんな現代人なら誰もがドキッとするような問題に触れています。

発達心理学と聞くと少し堅苦しく感じるかもしれませんが、本書ではちょっとした宇宙のような、フシギなイメージの世界が広がっています。読み進めるたびに、なにかがひとつずつ進んでいく。そんな本を自分の「中身」探しのお供にいかがでしょうか。(Y. S)

『西の魔女が死んだ』：梨木 香歩 著 (913.6 || N 55)

この本は、学校での人間関係になじめず、不登校状態になっている主人公まいが「魔女」と呼ばれる彼女のおばあちゃんの家で魔女修行をするお話です。自然豊かな風景や生き生きとした動物たちの様子が表現されていて、読み進めていくとまるで自分もまいと同じように物を触ったり音を聴いたりしているような感覚になりました。

まいは魔女修行を続けていくうちに少しずつ成長していきます。しかし、成長とともに自分の考えや思いが強くなり、おばあちゃんにも反発してしまいます。そしてお互い気持ちがすれ違ったまま、おばあちゃんのもとを離れることに。あるきっかけでまいがおばあちゃんの家を数年ぶりに訪れると、そこには「魔女」からのメッセージが…。ラストは誰もが心を揺さぶられる、素晴らしい作品です。興味のある方はぜひ読んでみてください。(M・M)

『サマーウォーズ』：岩井 恭平 著 / 細田 守 原作 (913.6 || I93)

主人公の健二が高校の先輩の夏希の親戚一同と力を合わせてOZ(オズ)で起こった衝撃的な出来事を解決しようと立ち上がり、困難を乗り越えながら親戚のつながりを深めていくお話です。健二と夏希の関係も物語が進むにつれて変化していくので注目です。この本は、大変な時だからこそ友人や家族と協力すること、あきらめないことが大切なのだという強いメッセージを感じさせてくれる熱くてやさしい物語です。家族との絆を強く感じられる作品なので皆さんにも読んで欲しい1冊です。

原作の細田守さんは「時をかける少女」「おおかみこどもの雨と雪」など有名な作品を発表しており、どの作品も日本アカデミー賞最優秀アニメーション作品賞を受賞しています。映画では俳優の神木隆之介さんが声優を務め人気を集めました。視聴覚ライブラリーにDVDもありますので是非ご覧下さい。(Y・T)

* 図書はメインカウンター脇にあります。ご利用ください。